

茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成29年 5月

1 東京都中央卸売市場(平成29年1~4月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は63.3万tで、前年比2%増、金額は1,878億円で前年並となった。
- ② 茨城県産の入荷量は7.1万tで、前年比3%減、金額は179億円で前年比4%減となった。
(金額の内訳は、野菜154億円、果実25億円。前年同期比で野菜4%減、果実3%減。平年同期比で野菜10%増、果実10%増。)
→金額が【増加】した品目(前年対比)：はくさい(162%)、キャベツ類(134%)、こだますいか(110%)
→金額が【減少】した品目(前年対比)：レタス類(70%)、きゅうり(77%)、メロン類(87%)
- ③ 茨城県の1~4月計の青果物入荷量は平年比103%(シェア11.3%)、取扱金額は同110%(シェア9.5%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1~4月計)			
	1~4月計	年間計	年間比	1~4月計	年間計	年間比	千葉	北海道	青森	
数量	H29	632,669		71,285	←シェア(11.3%)		12.8%	8.5%	4.7%	
	H28	621,824	1,956,079	31.8	73,166	229,650	31.9	13.9%	9.1%	4.9%
	(前年比)	102			97	シェア(11.8%)				
	平年値※1	636,814	2,013,667	31.6	69,282	226,294	30.6			
	(平年比)	99			103	シェア(10.9%)				
金額	H29	187,780		17,885	←シェア(9.5%)		8.7%	4.1%	5.3%	
	H28	188,311	586,489	32.1	18,543	61,743	30.0	8.6%	3.4%	5.8%
	(前年比)	100			96	シェア(9.8%)				
	平年値※1	179,702	483,051	37.2	16,291	53,617	30.4			
	(平年比)	104			110	シェア(9.1%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成24, 25, 26, 27, 28年の5カ年平均。
※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》
平成28年実績
(1~12月計)

茨城県：金額シェア(10.5%)、数量シェア(11.7%)
千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(11.5%)
北海道：金額シェア(6.4%)、数量シェア(11.2%)
青森県：金額シェア(6.0%)、数量シェア(6.2%)

2 東京都中央卸売市場(平成29年4月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高 ()内は前年対比

野菜類の入荷量は1万9千トン(97%)、単価は238円(100%)、金額は46億円(97%)

果実類の入荷量は1千トン(94%)、単価は694円(102%)、金額は7.3億円(96%)

	品目	数量(t)		単価(円/kg)			金額(千円)			
		前年比%	平年比	前年比%	平年比	前年比%	平年比			
野菜	はくさい	5,926	105	114	140	144	170	830,638	151	194
	レタス	3,595	92	91	174	93	92	624,372	85	83
	ピーマン	1,317	105	113	461	96	95	607,645	101	108
	れんこん	289	73	61	901	111	147	260,147	81	96
	野菜類計	19,386	97	104	238	100	104	4,612,694	97	108
果実	いちご類	403	84	82	1,000	116	128	403,559	98	106
	果実類計	1,052	94	110	694	102	109	730,706	96	120

3 東京都中央卸売市場における【はくさい】の取扱いについて

① 概況

東京都中央卸売市場(以下、都中央)における1~4月までの4カ月間のはくさいの取扱いは、年明けからの少雨による乾燥や3月中下旬の低温の影響により、生育・肥大の停滞が一時的に見られたものの、基本的には晴天が続いたことや、4月以降の降雨により回復し、全体的には数量増となった。都中央における取扱い状況を見ると、数量38,500トン(前年比106%)、金額42億円(前年比162.9%)、単価109円(前年比153.1%)となった。

また、4月は、長野県、群馬県産などの高冷地ものがやや出遅れたため、茨城県産はくさいの需要が強く、入荷量が同月前年を上回った一方で、単価も3月からさらに高値展開となった。

5月は、茨城県産、熊本、宮崎等の九州産入荷量が増加し、市場全体では潤沢な入荷が続いている。遅れている長野県産等の高冷地物については、下旬から本格出荷となる見通しである。

② 本県産の状況

1~4月における本県産の入荷量は、秋冬はくさいの切り上がりが早かったことと、乾燥による肥大停滞から、2月、3月は前年同月の入荷量を下回ったものの、期間全体で見ると前年を約1%上回った。さらに、単価が前年の2割から4割を超える高値基調で推移したことから、1~4月の販売額は大きく増加した。

5月に入り、本県産、九州産等を中心に連休明けから春はくさい出荷量が増加した一方で、気温の上昇等により、業務関係を中心に需要が減少し、中旬に入り価格が下落した。今後は高値回復は見込まれず、月末、来月にかけて前年を下回る安値基調が続く見通しである。

	本年産(平成29年1~4月)			前年産(平成28年1~4月)			前年比		
	数量(t)	金額(千円)	単価(円/kg)	数量(t)	金額(千円)	単価(円/kg)	数量(%)	金額(%)	単価(%)
全体	38,500	4,215,027	109	36,331	2,587,098	71	106.0	162.9	153.1
茨城県	28,969	3,054,642	105	28,636	1,887,706	66	101.2	161.8	159.3

※各数値は、東京都中央卸売市場取扱い実績を基に算出